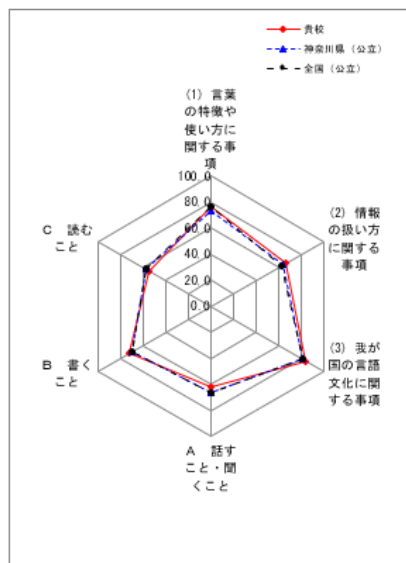


## 国語

<学習指導要領の内容の平均正答率の状況>



国語に関しては、本校の全体の正答率を見ると、全国の平均正答率と、ほぼ同等の結果である。

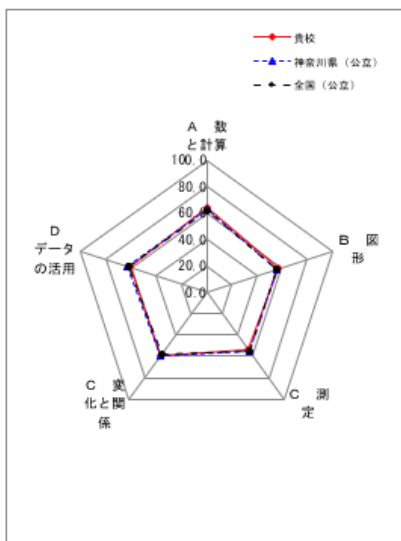
問題毎の解答状況では、

「書く内容の中心を明確にし、内容のまとまりで段落をつくったり、段落相互の関係に注意したりして、文章の構成を捉えることができるかどうかをみる」ことが趣旨の問題の解答状況は、全国の平均正答率をやや上回る結果であった。

「目的や意図に応じて、日常生活の中から話題を決め、集めた材料を分類したり関係づけたりして、伝え合う内容を検討することができるかどうかをみる」「事実と感想、意見などとの関係を叙述を基に押さえ、文章全体の構成を捉えて要旨を把握することができるかどうかをみる」ことが趣旨の問題の解答状況に関しては、全国の平均正答率をやや下回る結果であった。

## 算数

<学習指導要領の領域の平均正答率の状況>



算数に関しては、本校の全体の正答率を見ると、全国の平均正答率と、ほぼ同等の結果である。

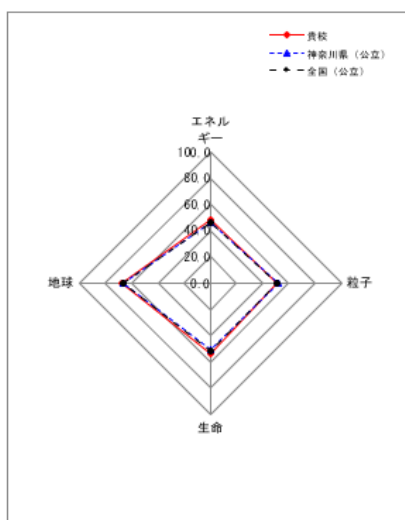
問題毎の解答状況では、

「台形の意味や性質について理解しているかどうかをみる」「分数の加法について、共通する単位分数を見だし、加数と被加数が、共通する単位分数の幾つ分かを数や言葉を用いて記述できるかどうかをみる」「数直線上で1の目盛りに着目し、分数を単位数の幾つ分として捉えることができるかどうかをみる」ことが趣旨の問題の解答状況は、全国の平均正答率をやや上回る結果であった。

「目的に応じては適切なグラフを選択して出荷量の増減を判断し、その理由を言葉や数を用いて記述できるかどうかをみる」「異分母の分数の加法の計算をすることができるかどうかをみる」ことが趣旨の問題の解答状況に関しては、全国の平均正答率をやや下回る結果であった。

## 理科

<学習指導要領の領域の平均正答率の状況>



理科に関しては、本校の全体の正答率を見ると、全国の平均正答率と、ほぼ同等の結果である。

問題毎の解答状況では、

「赤玉土の粒の大きさによる水のしみ込み方の違いについて、赤玉土の量と水の量を正しく設定した実験の方法を発想し、表現することができるかどうかをみる」「身の回りの金属について、電気を通す物、磁石に引き付けられる物があることの知識が身に付いているかどうかをみる」「レタスの種子の発芽の条件について、差異点や共通点を基に、新たな問題を見だし、表現することができるかどうかをみる」ことが趣旨の問題の解答状況は、全国の平均正答率をやや上回る結果であった。

「ヘチマの花のつくりや受粉についての知識が身に付いているかどうかをみる」「水の温まり方について、問題に対するまとめを導き出す際、解決するための観察、実験の方法が適切であったかを検討し、表現することができるかどうかをみる」ことが趣旨の問題の解答状況に関しては、全国の平均正答率をやや下回る結果であった。